

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

小児炎症性腸疾患患者の成人移行支援について

●研究の対象

2022年1月から2025年12月までに京都第二赤十字病院小児科において、通院歴のある16歳以上の小児炎症性腸疾患（IBD）の患者さんを対象とします。

●研究の目的

小児IBDの患者さんにおいて、成人診療科への円滑な移行は重要な課題となっています。本来移行期医療は、意図的で計画的に取り組むことが必要であると言われており、症状が安定した寛解期での移行が望ましいとされています。しかし、実臨床では悪化を契機に移行する例も見られます。そこで、当院における成人移行期の小児IBD患者さんの現状を把握し、小児科に留まる患者さんの特徴を分析することで、移行を順調に進めるために必要な要因を明らかにすることとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年11月30日まで

●研究の方法

診療記録を振り返り、下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

- 情報：年齢、性別、発症年、職業、病変範囲、最終内視鏡日、現在の治療、受診時の付き添いの有無、消化器内科への移行状況、16歳以降の症状再燃や治療変更の有無、その他成人科へ移行していない理由として考えられる情報

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 看護部 看護師 野口真碧

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：看護部 看護師 野口真碧

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）